

日時：2019年2月27日（水）
13:30～18:00

場所：日仏会館 1階ホール

※事前申込必要／詳しくは裏面をご覧ください

誰もが情報発信できると同時に、事実に基づかない言説が流布している現代社会を、「フェイクニュース」「ポスト真実」「国家権力」「記憶・記録」等をキーワードに問い直す。

メディアと 公共空間 メディアは 誰のものか

Medias et espace public : à qui appartiennent les medias ?

主催：科学研究費補助金・基盤研究（B）「社会学のディシプリン再生はいかにして可能か——デュルケム社会学を事例として」（15H03409）
日本学術振興会「学術研究動向等に関する調査研究」、日仏社会学会、
デュルケム/デュルケム学派研究会
共催：日仏会館・フランス国立日本研究所



デュルケムと タルド その現代的意義

Durkheim et Tarde : leurs significations actuelles

日時：2019年3月4日（月）
13:30～18:00

場所：奈良女子大学
生環系E棟108教室

フランス社会学の草創期のライバル、デュルケムとタルドを読み直し、その現代的意義を問う。

※ 3月5日（火）ラウンドテーブルも開催

主催：科学研究費補助金・基盤研究（B）「社会学のディシプリン再生はいかにして可能か——デュルケム社会学を事例として」（15H03409）
日本学術振興会「学術研究動向等に関する調査研究」、日仏社会学会、
デュルケム/デュルケム学派研究会
共催：奈良女子大学社会学研究会



2月27日
(水)

メディアと公共空間：メディアは誰のものか

Medias et espace public : à qui appartiennent les medias ?

13:30~18:00 日仏会館 1階ホール Maison franco-japonaise, Auditorium

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-9-25

JR山手線：恵比寿駅東口徒歩10分 東京メトロ日比谷線：恵比寿駅1番出口徒歩12分

言語：日本語・フランス語・英語（講演については逐次通訳あり）

日仏会館・フランス国立日本研究所Web siteより参加申込みをお願いします

https://www.mfj.gr.jp/index_ja.php



参加申し込みはこちら→

または「メディアと公共空間：メディアは誰のものか」で検索

誰もが情報発信できると同時に、事実に基づかない言説が流布している現代社会を、「フェイクニュース」「ポスト真実」「国家権力」「記憶・記録」等をキーワードに問い直す。

1. 趣旨説明 présentation du colloque (13:30~13:40)

2. 講演 conférence (13:40~15:40)

シリル・ルミュー Cyril LEMIEUX (社会科学高等研究院EHESS)

フェイクニュース狩り：道徳的パニック？

Chasse aux fake news: une panique morale?

(休憩 15:40~15:50)

3. 報告 interventions (15:50~16:50)

藤吉圭二 FUJIYOSHI Keiji (追手門学院大学)

「誰もが情報発信できる時代」に発信されないもの

What remains unshared in the age when anyone can be source of information

金瑛 KIN Ei (関西大学)

「ポスト真実」の時代における「記憶」と「記録」の関係

Relations entre « mémoire » et « enregistrement » à l'âge de « post-vérité »

4. コメント discussion (16:50~17:10) シリル・ルミュー Cyril LEMIEUX

5. 全体討論 discussion générale (17:10~18:00)



シリル・ルミュー Cyril LEMIEUX

フランスの社会学者で、EHESS(社会科学高等研究院)教授。Laboratoire interdisciplinaire d'études sur les réflexivités - Fonds Yan Thomas (LIER-FYT)(反省性に関する学際研究室・ヤントマ文庫)の所長でもある。研究テーマはメディアと公共空間の社会学および社会学理論。主な著作は以下の通り。

<単著>

Mauvaise presse (『悪い報道』) 2000年

Le Devoir et la grâce (『義務と恩寵』) 2009年

La subjectivité journalistique (『ジャーナリストの主観性』) 2010年

La sociologie sur le vif (『現場の社会学』) 2010年

La sociologie pragmatique (『プラグマティック社会学』) 2018年

<編著>

Pour les sciences sociales (『社会科学のために』) 2017年

<共著>

A l'épreuve du scandale (『耐スキャンダル性』),

(D. de Blic との共著) 2005年

Faire des sciences sociales : critiquer (『社会科学を行うー批判する』), (P. Haag との共著) 2012年

Socialisme et sociologie (『社会主義と社会学』),

(B. Karsenti との共著) 2017年

フランス社会学の草創期のライバル、デュルケームとタルドを読み直し、その現代的意義を問う。

3月4日
(月)

デュルケームとタルド : その現代的意義

Durkheim et Tarde : leurs significations actuelles

13:30~18:00 奈良女子大学 生環系E棟108教室

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

言語：日本語・フランス語（講演については逐次通訳あり）

1. 趣旨説明 présentation du colloque (13:30~13:40)

2. 講演 conférence (13:40~15:40)

シリル・ルミュー Cyril LEMIEUX (社会科学高等研究院EHESS)

正常と病理のデュルケーム的概念とその政治的帰結

La conception durkheimienne du normal et du pathologique et ses conséquences politiques

(休憩 15:40~15:50)

3. 報告 interventions (15:50~16:50)

赤羽悠 AKABA Yu (早稲田大学)

神話としての民主主義：デュルケームにおける政治と人類学

La démocratie en tant que mythe : la politique et l'anthropologie chez Durkheim

笠木丈 KASAGI Jo (社会科学高等研究院EHESS博士課程)

ガブリエル・タルドと社会的無意識

Gabriel Tarde et l'inconscient social

4. コメント discussion (16:50~17:10) シリル・ルミュー Cyril LEMIEUX

5. 全体討論 discussion générale (17:10~18:00)

3月5日
(火)

参加無料
申込不要

ラウンドテーブル：シリル・ルミュー氏を囲んで

Table ronde : autour de M. Cyril LEMIEUX

10:00~13:00 奈良女子大学

文学系N棟339教室

言語：日本語・フランス語（逐次通訳あり）

話題提供：シリル・ルミュー「フランスにおける社会学の展開」L'évolution sociologique en France
フランス社会学の動向をテーマに、情報交換をおこないます。

奈良女子大学キャンパスマップはこちら→
または「奈良女子大学キャンパスマップ」で検索

